

2025年7月1日

イオン東北株式会社

地域の皆さまが集い、にぎわいあふれる店舗を目指して

8月1日、福島県双葉町に「イオン双葉店」オープン

イオン東北株式会社は8月1日（金）、福島県双葉町に「イオン双葉店」（以下、当店）をオープンします。



双葉町は福島県浜通り地方のほぼ中央、中部双葉郡の北東部に位置し、東に太平洋、西に阿武隈山脈を臨む、海と山に抱かれた豊かな自然を誇る町です。2011年3月に発生した東日本大震災により甚大な被害を受け、現在も町の復興に取り組んでいます。

イオン東北は2024年4月9日、「双葉町における商業環境整備に関する覚書」の締結式を双葉町と執り行いました。本覚書の目的は双葉町の皆さまの帰還を促進するため、サービス向上の一環とした商業環境整備等に関して相互協力し、さまざまな取り組みを進めていくものです。このたび、具体的な事業として当店を出店します。

「地域の皆さまが集い、にぎわいあふれる店舗を目指す」

～買物を通じたコミュニティの場を提供し、皆さまとの交流を大切にしながら、地域で暮らす皆さまと一緒に作り上げていく、そんなにぎわいあふれる店舗を目指します～

- 新鮮な鮮魚や野菜、旬の果物をはじめとする生鮮食品、日用消耗品や医薬品など暮らしに必要な商品を取り揃え、地域の皆さまの生活を応援します。
- 「弁当」「総菜」など、昼食にピッタリの商品を豊富に取り揃えるほか、「刺身」「握り寿司」「おつまみ」など食卓を彩る一品を提供します。
- 「家庭用医薬品」は登録販売者がお話を伺い、ご本人さまに合った薬をお勧めします。
- 店内にはイートインコーナーも設置し、双葉町役場と隣接した立地を活かした地域の憩いの場として、双葉町に集う皆さまが楽しめる空間を提供します。

当店は、町に戻り生活を再開された方々や帰還を願いながらも町を離れて生活をする方々が、ふるさと双葉町で震災前の生活を取り戻すことを願い、日々の暮らしに必要な食料品や日用品、家庭用医薬品を取り揃えます。

この他、店内にはイトインも設置し、地域の憩いの場として帰還された方や復興に携わる方など、買物だけでなく双葉町に集う皆さまが楽しめる店舗を目指します。

これからも双葉町とイオン東北は、これまで以上に連携し、地域の活性化や住民の皆さまへの新しいサービスの創出に取り組んでまいります。

<店舗の概要>

名 称：イオン双葉店

所 在 地：福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西36番地1（双葉町役場横）

責 任 者：店長 新田 信哉

オープン日：2025年8月1日（金）午前10時30分

直営売場面積：約197㎡

駐 車 台 数：12台

駐 輪 台 数：11台

営 業 時 間：8：00～19：00

休 業 日：年中無休

【イオン双葉店 店舗周辺地図】



【ご参考】【双葉町とイオンのこれまでについて】

■ 2022年5月31日

特定復興再生拠点区域等における広域移動販売事業実施に伴う基本協定の締結

双葉町、浪江町、トヨタ自動車株式会社（愛知県豊田市）、イオン東北の4者は、「特定復興再生拠点区域等における水素燃料電池自動車を活用した移動販売事業に関する基本協定」を締結しました。本協定は、参画する2つの自治体と2つの企業が、互いに持つ資源やノウハウ等を活用し、地域の持続可能性や環境配慮並びに東日本大震災からの復興を念頭に置きながら、移動販売事業を実施することで、買い物環境に困難を感じている町民を支援することにより、地域の課題解決や行政サービスの向上等を図り「未来につながる持続可能なまちづくり」を実現することを目的としています。



■ 2022年6月10日

双葉町内・浪江町内での「移動販売車」の運行開始

「特定復興再生拠点区域等における水素燃料電池自動車を活用した移動販売事業に関する基本協定」に基づき、イオン東北は日々のお買い物に不便を感じている皆さまのお買い物支援として、イオン浪江店を拠点とした「移動販売車」の運行を開始しました。土曜日・日曜日を除く週5日、曜日別に決められたルートを実行し、生鮮・総菜を含む食品や日用品など最大500品目を販売しています。



■ 2024年4月9日

「双葉町における商業環境整備に関する覚書」の調印

伊澤町長ご同席のもと、双葉町役場にて「双葉町における商業環境整備に関する覚書」の調印式を行いました。本覚書の目的は双葉町の皆さまの帰還を促進するため、サービス向上の一環とした商業環境整備等に関して相互協力し、さまざまな取り組みを進めていくものです。

具体的な事業としてイオン東北が運営する「（仮称）イオン双葉店」のオープンを目指します。

